

# 実践記録 シリーズ 61

私の愛する“ふるさと”を多くの人たちに伝えたい  
ふるさとビデオ映画ついに完成 1本1000円(活動協力費)  
あなたの心が地域を救います!

豊栄市中央公民館 主任 高橋正範



スタッフによる上映会の進行

## 1 中央公民館「地域コミュニティ講座I」とは

豊栄市では、施策の大きな柱として地域コミュニティづくりを展開中です。

そこで中央公民館では、自己決定・自己責任・自己負担の自立型の地域づくりを目指し、市内5地区で、地域コミュニティ講座Iを新規事業として展開しています。そのひとつが、岡方地区のふるさとビデオ映画づくりです。

## 2 制作母体「岡方さがし隊」の誕生

岡方地区は、市の南に位置し、世帯数1050戸、人口4500人の地区です。

この地区で、平成14年7月に、20代から60代までの19人の地元スタッフで「岡方さがし隊」を結成し、ふるさとビデオ映画づくりを始めました。



ふるさと岡方を再発見

スタッフは不安をかかえながらも、地域のためにスタッフ会議・

シナリオづくり・撮影・編集作業に50日間をついやし、平成15年2月に地域で上映会を開催するところまでこぎつけました。

## 3 完成作品「いろいろ岡方」～受け継がれるふるさと～

子どもたちが、地域に目を向け、地域を自分たちのものとすることによって、地域に愛着を感じ、ふるさと意識が芽生えてきます。

この映画には、先人から継承された伝統芸能や学校の歴史、阿賀野川のシジミ漁や新しい名所などの自然風景・保育園・学校での子どもたち、敬老会でのおばあちゃん、おじいちゃんの笑顔など、人とひととのふれあいを映像に収めました。

懐かしく、愛着をもって思い出されるものを守っていくこと。そんな大人としての役割を感じさせる30分のビデオ映画です。

## 4 地域へ伝えられたもの、地域から伝えられたもの

上映会は、2月から地域全体で2回、要望のあった自治会では2回開催したところでした。

その会場では、子どもたちからお年寄りまで世代間の垣根をこえた、さまざまな人たちの交流があり、映像を通じて岡方地区のすばらしさを改めて地域の方々に伝え

ることができたと思います。

また、多くの人に見ていただけるようVHSビデオテープにまとめ、1本1000円で販売しています。これは2年目の活動費に充てます。



世代を超えた参加者の皆さん

撮影では地域の皆さんから、上映会では自治会長さんから協力をいただき、また地元の岡方地区公民館からは、活動協力金の受付事務まで引き受けていただきました。大変感謝をしています。

そんな地域の温かさに励まされ「岡方さがし隊」は、平成15年3月、ますます地域づくりのために貢献しようと確認しあいました。

